



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 成学社 上場取引所 東
 コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 山本 一之 (TEL) 06-6373-1571
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,548	7.8	△512	—	△506	—	△314	—
2024年3月期第1四半期	2,365	3.5	△446	—	△443	—	△311	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △316百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △318百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△56.65	—
2024年3月期第1四半期	△56.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,333	3,107	37.3
2024年3月期	8,863	3,474	39.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 3,107百万円 2024年3月期 3,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	9.50	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,328	4.9	△17	—	△24	—	△42	—	△7.65
通期	13,791	5.3	746	6.2	733	3.2	397	△8.3	71.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 株式会社一会塾、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	5,876,000株	2024年3月期	5,876,000株
2025年3月期1Q	328,102株	2024年3月期	328,102株
2025年3月期1Q	5,547,898株	2024年3月期1Q	5,548,203株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(追加情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」等を運営し、幅広い教育及び保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,548,519千円（前年同期比7.8%増）、営業損失512,645千円（前年同期は営業損失446,223千円）、経常損失は506,993千円（前年同期は経常損失443,148千円）、法人税等調整額の計上等により親会社株主に帰属する四半期純損失は314,265千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失311,123千円）となりました。

なお、当社グループの第1四半期の業績は、収益の基盤となる塾生数が少ない期間であること、収益性の高い講習会・特別授業を実施しない期間であること等により、例年、営業損失を計上する傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①教育関連事業

個別指導部門では塾生数の増加及び授業料の改定により、クラス指導部門では本年6月に連結子会社化した一会塾の寄与により、学習塾部門の売上高は増加いたしました。保育部門では、公定価格改定に伴う給付金の増加、運営補助金の確定後精算返戻金の減少等により売上高は増加いたしました。その他の指導部門では、「開成アカデミー日本語学校」の学生数の増加、ベトナムで運営している幼稚園の園児数の順調な増加、子会社において学校法人からの広告関連の受注が増加したことにより、売上高は増加いたしました。

一方、費用面では、従業員の処遇改善に伴う人件費の増加、塾生募集のためのWEB広告強化に伴う広告宣伝費の増加、採用強化に伴う求人広告費の増加、前述の連結子会社化に伴う費用の発生等により、費用は増加いたしました。

この結果、売上高は2,521,244千円（前年同期比7.7%増）、セグメント損失（営業損失）は500,454千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）434,869千円）となりました。

②不動産賃貸事業

所有不動産の余剰スペース（賃貸スペース）及びテナントの入居状況に大きな変動はなく、売上高は10,265千円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益（営業利益）は4,896千円（前年同期比1.8%増）となりました。

③飲食事業

ディナーの来客者数の増加及び客単価の上昇等により、売上高は17,009千円（前年同期比13.1%増）となりました。人件費や原材料費の増加等があったものの売上高の伸びで吸収し、セグメント損失（営業損失）は1,195千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）2,319千円）と改善いたしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から529,154千円(6.0%)減少し、8,333,909千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から876,823千円(24.9%)減少し、2,642,010千円となりました。これは主として現金及び預金が前連結会計年度に比べ483,427千円、営業未収入金及び契約資産が同359,855千円、その他に含まれる未収入金が同28,274千円、商品が同11,963千円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末から347,669千円(6.5%)増加し、5,691,898千円となりました。これは主として投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が前連結会計年度に比べ197,897千円、のれんが同85,542千円、建物及び構築物(純額)が同46,857千円、差入保証金が同23,193千円増加したことによります。

負債は前連結会計年度末から162,405千円(3.0%)減少し、5,226,199千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から109,833千円(3.2%)減少し、3,278,744千円となりました。これは主として短期借入金の前連結会計年度に比べ129,000千円増加し、賞与引当金が前連結会計年度に比べ130,370千円、未払法人税等が同103,304千円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末から52,572千円(2.6%)減少し、1,947,455千円となりました。これは主として長期借入金の前連結会計年度に比べ74,881千円減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末から366,748千円(10.6%)減少し、3,107,709千円となりました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度に比べ364,196千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(2024年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,996,744	1,513,317
営業未収入金及び契約資産	1,119,407	759,551
商品	46,146	34,183
仕掛品	-	265
貯蔵品	10,378	12,291
その他	351,552	328,807
貸倒引当金	△5,395	△6,407
流動資産合計	3,518,834	2,642,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,586,840	4,681,909
減価償却累計額	△2,018,176	△2,066,387
建物及び構築物 (純額)	2,568,664	2,615,522
土地	1,107,259	1,107,259
その他	925,831	944,907
減価償却累計額	△716,567	△732,990
その他 (純額)	209,264	211,916
有形固定資産合計	3,885,187	3,934,697
無形固定資産		
のれん	9,978	95,521
その他	179,962	171,654
無形固定資産合計	189,940	267,175
投資その他の資産		
差入保証金	928,019	951,213
その他	341,081	538,812
投資その他の資産合計	1,269,101	1,490,025
固定資産合計	5,344,229	5,691,898
資産合計	8,863,064	8,333,909

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,662	95,732
短期借入金	-	129,000
1年内返済予定の長期借入金	929,432	909,987
未払法人税等	133,644	30,339
前受金	841,172	871,448
賞与引当金	191,549	61,178
その他	1,126,116	1,181,057
流動負債合計	3,388,577	3,278,744
固定負債		
長期借入金	1,383,691	1,308,810
退職給付に係る負債	8,110	8,160
資産除去債務	509,021	518,735
その他	99,205	111,749
固定負債合計	2,000,028	1,947,455
負債合計	5,388,605	5,226,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,108	235,108
資本剰余金	178,349	178,349
利益剰余金	3,364,570	3,000,373
自己株式	△265,687	△265,687
株主資本合計	3,512,339	3,148,143
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△37,881	△40,433
その他の包括利益累計額合計	△37,881	△40,433
純資産合計	3,474,458	3,107,709
負債純資産合計	8,863,064	8,333,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,365,179	2,548,519
売上原価	2,318,141	2,489,542
売上総利益	47,037	58,976
販売費及び一般管理費	493,261	571,621
営業損失(△)	△446,223	△512,645
営業外収益		
受取利息	781	169
為替差益	5,625	4,683
その他	3,784	9,045
営業外収益合計	10,190	13,898
営業外費用		
支払利息	5,666	6,157
固定資産除却損	106	1,810
その他	1,342	278
営業外費用合計	7,115	8,247
経常損失(△)	△443,148	△506,993
特別利益		
固定資産売却益	-	149
ゴルフ会員権売却益	-	161
事業譲渡益	3,772	2,363
特別利益合計	3,772	2,675
特別損失		
減損損失	948	749
特別損失合計	948	749
税金等調整前四半期純損失(△)	△440,324	△505,067
法人税、住民税及び事業税	5,235	6,898
法人税等調整額	△134,435	△197,700
法人税等合計	△129,200	△190,802
四半期純損失(△)	△311,123	△314,265
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△311,123	△314,265

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△311,123	△314,265
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,223	△2,552
その他の包括利益合計	△7,223	△2,552
四半期包括利益	△318,347	△316,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△318,347	△316,817
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、株式会社一会塾の株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	1,886,578	—	—	1,886,578	—	1,886,578
保育部門	305,034	—	—	305,034	—	305,034
その他の指導部門	148,331	—	—	148,331	—	148,331
飲食	—	—	15,044	15,044	—	15,044
顧客との契約から 生じる収益	2,339,943	—	15,044	2,354,988	—	2,354,988
その他の収益	—	10,190	—	10,190	—	10,190
外部顧客への売上高	2,339,943	10,190	15,044	2,365,179	—	2,365,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	405	5,512	—	5,917	△5,917	—
計	2,340,348	15,703	15,044	2,371,096	△5,917	2,365,179
セグメント利益又は 損失(△)	△434,869	4,810	△2,319	△432,378	△13,845	△446,223

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,845千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において948千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	2,018,134	—	—	2,018,134	—	2,018,134
保育部門	337,211	—	—	337,211	—	337,211
その他の指導部門	165,898	—	—	165,898	—	165,898
飲食	—	—	17,009	17,009	—	17,009
顧客との契約から 生じる収益	2,521,244	—	17,009	2,538,254	—	2,538,254
その他の収益	—	10,265	—	10,265	—	10,265
外部顧客への売上高	2,521,244	10,265	17,009	2,548,519	—	2,548,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	600	5,230	—	5,830	△5,830	—
計	2,521,844	15,496	17,009	2,554,350	△5,830	2,548,519
セグメント利益又は 損失(△)	△500,454	4,896	△1,195	△496,752	△15,892	△512,645

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△15,892千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において749千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「教育関連事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間より、株式会社一会塾の株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において85,019千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	81,062千円	87,927千円
のれんの償却額	1,297 "	2,340 "

(追加情報)

(資本金の額の減少)

当社は、2024年5月15日開催の取締役会において、下記のとおり、2024年6月27日開催の第38期定時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同株主総会において承認可決されました。

1 資本金の額の減少の目的

資本政策の柔軟性及び機動性を確保し、現在の事業規模に応じた適切な税制の適用を通じて財務の健全性を維持することを目的として会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行うものであります。なお、本件による発行済株式総数及び純資産額に変動はありません。

2 資本金の額の減少の要領

(1) 減少する資本金の額

資本金の額235,108,320円を135,108,320円減少して、100,000,000円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

3 日程

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2024年5月15日 |
| (2) 株主総会決議日 | 2024年6月27日 |
| (3) 債権者異議申述最終期日 | 2024年9月24日(予定) |
| (4) 減資の効力発生日 | 2024年10月1日(予定) |

4 今後の見通し

本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理のため、純資産額に変動はなく、当社業績に与える影響は軽微であります。